

内部選考を行う奨学金について(第5回)

掲 載 日:2022年4月1日(金) ~ 申込締切日:2022年4月13日(水)必着
 申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当 ※必要書類は郵送でご提出ください。

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2022年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
公益財団法人 森下仁丹奨学会	<p>〈課 程〉 学部、修士、博士 〈研究科〉 不問 〈学 年〉 学部3年生、修士1年生、博士1・2年生 〈国籍等〉 不問(ただし留学生は除く)</p> <p>〈その他〉 ・志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者。 ・家計基準は日本学生支援機構第1種に準ずる。(大学院生も学部生と同等の家計基準を適用) ・修学の意志が固く、責任感が強く、学生生活全般を通じて態度、行動に良識があり、かつ修業後、社会に有為な人材と為り得る者。 ・学部学生、大学院学生ともに、前年度までの通算GPAが2.8以上の者。</p> <p>※内部選考に通過した場合、短期間(2日程度)で出願書類をご準備いただきます。 ※内部選考通過者は小論文(400字詰め原稿用紙2枚程度)の作成が必須です。</p> <p>〈支給期間〉 採用決定月(6月)～最短修業年限まで(毎年度末に継続可否の審査あり)</p>	<p>不可</p> <p>※但し、日本学生支援機構等の返還を要する貸与型奨学金は併給可。</p>	給付	30,000円	1
公益財団法人 ナカベ 中部奨学会	<p>〈課 程〉 博士 〈学 年〉 不問 〈研究科〉 不問 〈国籍等〉 不問(永住者、定住者を含む) 〈その他〉 人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由(日本学生支援機構第二種を目安とする)により著しく修学が困難な者</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募可</p>	給付	60,000円	1

<p>公益財団法人 マース奨学財団</p>	<p>〈課程〉学部 〈学部〉不問 〈学年〉3-4年 〈国籍等〉日本国籍を有すること。 〈その他〉(1) 品行方正、志操堅固、健康である者。 (2) 学資が豊かでない者。 (2) 成績優秀である者。(1年次から2021年度末までの取得単位にて優・優上の割合が全体の6割以上) (3) 奨学金支給期間中に留学による休学を予定していないこと。 <u>大学のカリキュラムによる留学や交換留学等の単位が取得できる留学は可。</u></p> <p>※内部選考に通過した場合、2週間弱の期間で、指導教員など本学教員による推薦書(A4半分程度)の作成が必要になります。教員に推薦書を書いていただくことが可能な学部生のみ、申請してください。</p> <p>〈支給期間〉2022年4月から1年間</p>	<p>不可</p> <p>※但し、大学独自の奨学金、日本学生支援機構奨学金は可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	<p>給付</p>	<p>50,000円</p>	<p>1</p>
---------------------------	---	---	-----------	----------------	----------